

マグマシティ PRキャラクター
火山の妖精マグニョン

支援事例の紹介

鹿児島市

メイドイン かごしま 支援事業



経営力強化や新製品等の開発、
販路拡大にかかる経費の
一部を助成します
(先着順、一部選考)。



鹿児島市 メイドインかごしま 支援事業

鹿児島市では企業をさまざまな角度から支援できるよう事業を展開しています。
まずはお気軽にご相談ください。そして企業の発展にお役立てください。

主な補助対象経費

◆経営力強化事業

- ・生産性向上支援……………高付加価値化及び省力化を目的とした機材購入費、クラウドファンディングに係る手数料、計画等策定委託料
- ・事業承継・人材育成支援…事業承継のコンサルティング費（価値算定費用、デューデリジェンス費用等）、研修会講師派遣費
- ・知的財産権等取得支援……………弁理士費用、出願料

◆新製品等支援事業

- ・新製品等開発……………試験及び検査等に要する経費、試作品等の製作に要する経費、新製品の販促品のデザイン費や版代等
- ・新商品販路開拓(海外)………旅費・出展費、商品のパンフレット又は映像等の広告媒体制作費、新聞・専門誌等への広告掲載費

◆販路拡大推進事業

- ・商談会等出展……………出展料、会場装飾費、運搬料

※最新の情報は鹿児島市ホームページをご確認ください。

新製品等支援事業（新製品等開発）

アパレル クリエイション エムヨンニイチゼロ
Apparel Creation M4210

住所：鹿児島市中山町 5203-1
TEL：099-806-8760
URL：https://m4210.com

事業内容▶ 鹿児島をモチーフにしたグッズ製作、アパレル製品のパターン作成など

創 業▶ 2016年3月1日

従 業 員▶ 3名

代表者 四元 麻理 さん



納得のいく商品開発が可能に。 利用を機に提供される情報も活用

支援事業を利用しようとしたきっかけは？

鹿児島の風景や特産品などをデザインした「さつまこうちわ 南風扇 -HAESSEN-」が2019年の「かごしまの新特産品コンクール」で鹿児島市長賞に選ばれた際、鹿児島市産業支援課の担当者から提案いただき、支援事業の利用を検討し始めました。

支援事業を利用して何を行った？

取り出すティッシュを噴煙に見立てた「桜島 MOK MOK（モクモク）ティッシュケース」を2020年にリニューアルし、パッケージのデザインと試作品の製作にかかる経費に補助金を充てました。桜島の立体感が増し、時間や天候で表情が異なる桜島を7色のラインナップで表現した新商品は、その年の同コンクールで鹿児島県特産品協会理事長賞を受賞しました。

その効果は？

費用の自己負担が減ることで、細部までこだわった商品開発ができました。リニューアルされた商品は各方面から好評をいただき、売り上げの伸びにつながっています。申請書類を準備する中で目的や数字面の目

標を立て、それに基づいて“ものづくり”に取り組むことが経営面のブラッシュアップにもつながりました。

支援事業の利用を検討している事業者へ一言

利用前はハードルが高いイメージがありましたが、産業支援課の担当者から丁寧な説明を受け、スムーズに申請することができました。利用後もほかの補助制度やイベント、セミナーなどを案内いただけてとても助かっています。事業展開がはっきりと決まっていなくても、まずは気軽に相談されることをお勧めします。



自宅に構える工房にはミシンを備え、縫製まで行う



支援事業を利用しリニューアルしたMOKMOKティッシュケース



市長賞を受賞した南風扇

新製品等支援事業（新商品販路開拓）

ミコヤ 珈琲豆専門店 mikoya134

住所：鹿児島市下荒田 3-37-1
TEL：099-201-5529
URL：https://mikoya134.com

事業内容 ▶ コーヒー豆の焙煎・販売、オリジナルドリップバッグ製作など
創業 ▶ 1990年7月20日
従業員 ▶ 2名

代表者 馬場 克也 さん



ECサイト立ち上げで事業を効率化。年数件だった注文が月200件に

支援事業を利用しようとしたきっかけは？

コーヒーのドリップバッグを包むパッケージを好きな画像で作れるサービスを提供していましたが、ECサイトを立ち上げてもっと効率的に展開できないかと考え、以前から通っていた「鹿児島県よろず支援拠点」に相談しました。そこで「メイドインかごしま支援事業」を紹介してもらい、2021年に応募しました。

支援事業を利用して何を行った？

オリジナルパッケージを作るECサイト「推しカフェファクトリー」を立ち上げ、Googleでの検索結果で同サイトが上位に表示されるよう、グーグルアドワーズ（現グーグル広告）に広告を出稿しました。

その効果は？

年に数件だった注文が月に200件近く来るようになり、リピーターも増え、これまでに5回注文したお客さまもいます。ほぼ県外からの注文で、コーヒー豆などの販売も含めたホームページでの売り上げは約20倍に伸びました。以前はお客さまから届いた画像を基にサンプルを作製し、郵送するなどして仕上がりを確認

してもらっていましたが、「推しカフェファクトリー」では、お客さま自身で画像をアップロードし、画面上で仕上がりを確認できるようになり、作業効率が格段にアップしました。

支援事業の利用を検討している事業者へ一言

国の補助金などに比べて仕組みがシンプルで応募や申請に係る書類も少なく、これほどの支援事業を利用しないのは非常にもったいないと感じます。応募内容や方法を担当者に直接相談できるのもいいところ。販路開拓などのために何からしていいのかわからないという人には、まず各分野のコーディネーターが集まる「鹿児島県よろず支援拠点」での相談をお勧めします。



店の外には馬場さん自らの顔写真を使った記念撮影用のパネルを設置



「推しカフェファクトリー」で作られたオリジナルパッケージ

経営力強化事業（知的財産権等取得支援）

オーダーメイド アンドリメイク Ordermade & Remake おはりこ

住所：鹿児島市東千石町 20-15 南国コアビル 505
TEL：099-223-4774
URL：https://ohariko.net

事業内容 ▶ 婦人服やドレスのオーダーメイド製作、サイズ直しなど
創業 ▶ 2007年4月1日
従業員 ▶ 4名

代表者 松村 君香 さん



商標出願し新商品の権利を保護。HPリニューアルでも申請中

支援事業を利用しようとしたきっかけは？

手術入院する方の知人から依頼を受け、入院中に体に管を付けていても着脱しやすく、かつ華やかでおしゃれな「平面になるパジャマ」を製作しました。その後商品化を目指し鹿児島県よろず支援拠点で相談したところ、意匠権や商標権など商品を保護する知的財産権の取得を進められ、支援事業の存在についても教えてもらいました。

支援事業を利用して何を行った？

「平面パジャマ」の商標権と形状の意匠権を出願し、その経費に補助金を充てました。

その効果は？

2020年4月に商標権が認められました。意匠権は取得できないことがわかりましたが、かえってさまざまなサイズやデザインを展開するきっかけとなりました。「平面パジャマ」は、2019年の福岡デザインアワードで銀賞を受賞。商標登録を出願しており、商標は先に申請した人に権利が与えられるのが原則のため、受賞で商品が知られるようになって、その権利を守ることができました。

支援事業の利用を検討している事業者へ一言

知的財産権は必ず取得できるものではありませんが、支援事業のおかげで思い切ってチャレンジすることができました。申請方法も鹿児島市の担当者から分かりやすくアドバイスしていただきました。現在は、自社のホームページを見やすくリニューアルするため、再度支援事業に申請中です。リスクがあっても、未来に光を灯してくれるような支援事業を積極的に利用し、新しいことにチャレンジすることをお勧めします。



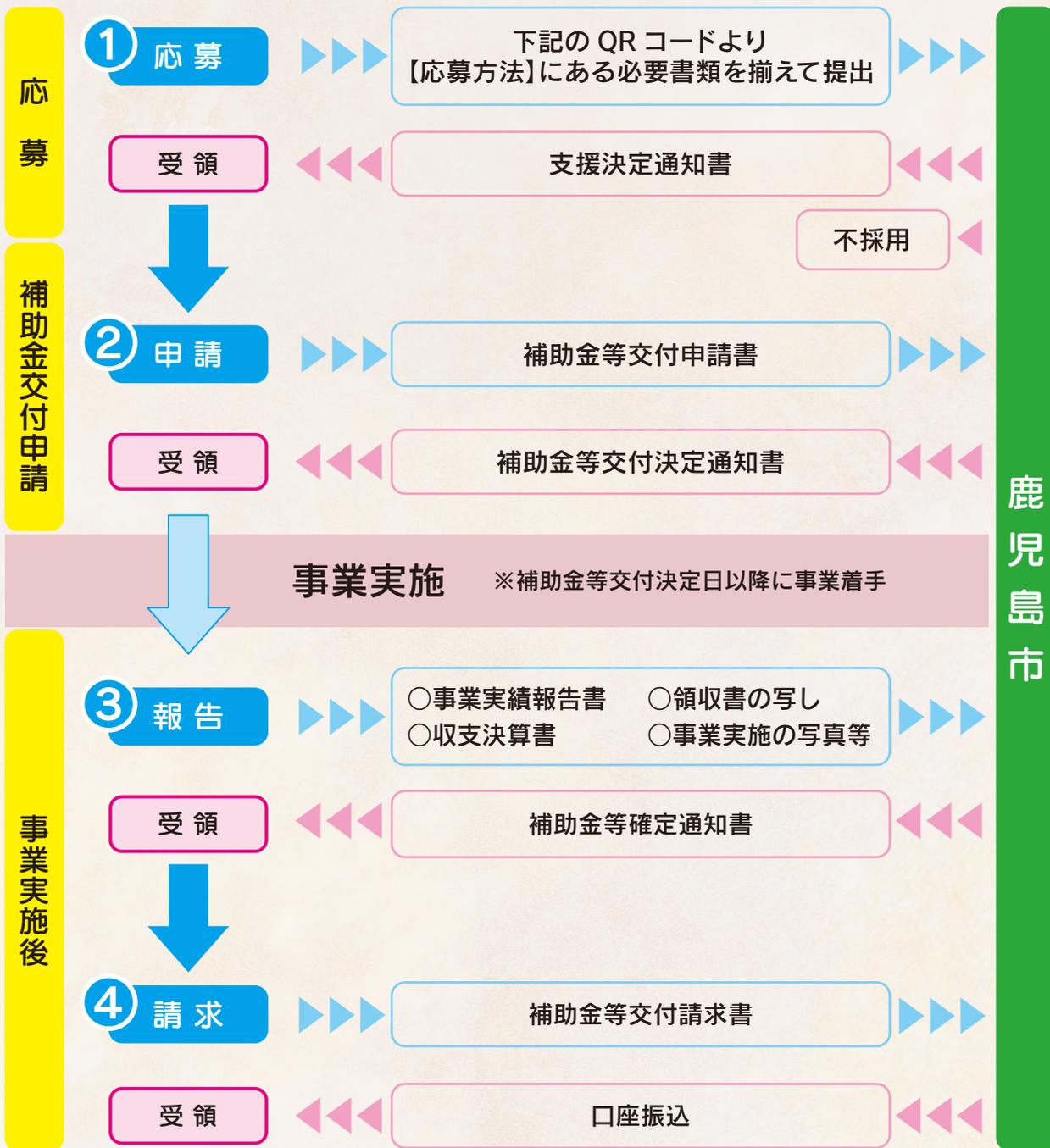
全ての工程を手作業で行う



商標権を取得した「平面パジャマ」。素材や色味は発注者の好みを聞いて製作する



【応募から実績報告のながれ】 (生産性の向上に関する取り組み以外)



鹿児島市

事業完了後一定期間、実績報告書を提出していただきます。

【お問い合わせ】

鹿児島市 産業支援課 ものづくり係

〒892-8677 鹿児島市山下町 11 番 1 号(みなと大通り別館 5 階)

TEL : 099-216-1323 FAX : 099-216-1303

Email : san-monoduku@city.kagoshima.lg.jp



メイドインかごしま支援事業